

## 稻刈り後は早期排水対策の徹底を！ 土壌の酸度矯正も忘れずに！

### 1. 排水対策で収量・品質UP！

麦作にとって、排水対策は最も重要な技術です。播種時の土壤水分を低くすることで、①播種・出芽の精度向上、②除草剤の効果安定、③麦の生育改善や収量・品質の向上が期待できます。

### 2. 溝掘りをいち早く行い水田を乾かしましょう！

稻刈りが終わったほ場から順次溝掘りを行いましょう。播種時期を見据え、乾くタイミングを逃さず排水溝を設置し、スムーズに播種が行えるよう準備を進めましょう。10月上旬までを目途に作業を行います。

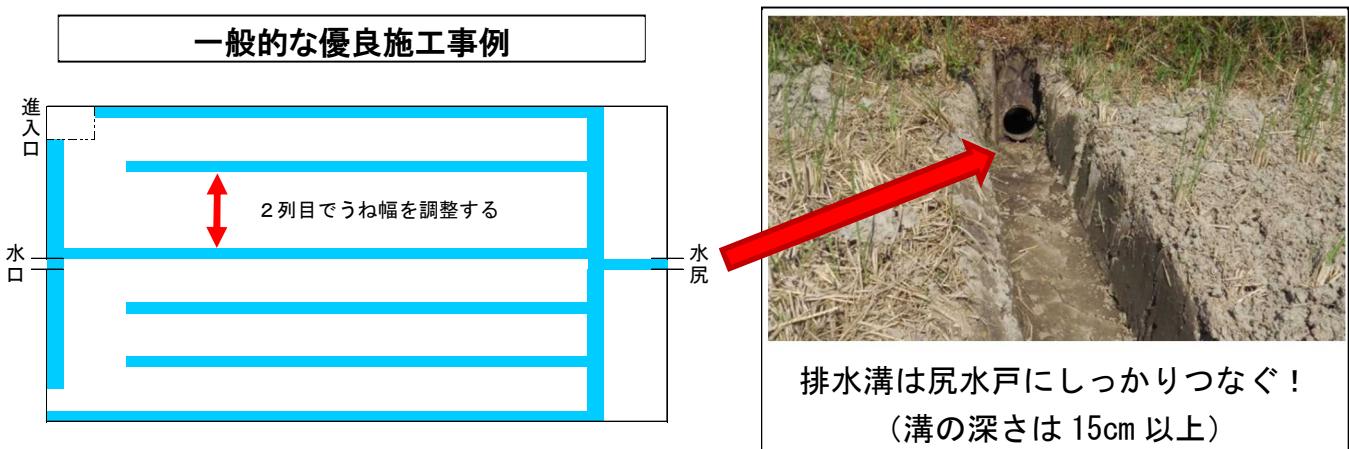


オーガ式溝堀機等で  
しっかりした排水溝を作る

ほ場表面の滞水が目立つ場合は、無理に機械作業を行うとほ場が荒れるため、まずは中干し溝等を利用して表面滞水の解消を促しましょう。

### 3. 排水溝(明きょ)は水尻まで流れるように！

溝のつなぎ目を連結する、水尻に向かって深くする 等で、  
水口から水尻までスムーズに排水されるようにしましょう。  
暗きょ排水と補助暗きょや心土破碎を組み合わせた排水も効  
果的です。



### 4. 土壌の酸度矯正も忘れずに！

麦は酸性に弱い作物です。土壤 pH6.5 を目標に、アルカリ資材を散布し、酸度矯正をしましょう。苦土石灰の場合、100 kg／10a が目安です。

### 5. 稲わらすき込みや堆肥施用で土づくりを！

前作の稻わらは焼却せず全量をすき込みましょう。

水稻单作と比べて、水稻一麦一大豆等の輪作体系では地力が低下する傾向があります。地力維持や土壤物理性改善のため、堆肥利用も検討しましょう。